

細河地域 コミュニティ ニュース

第36号

ほそごう地域コミュニティ推進協議会

〈細河地区〉

NPO法人 細河みどりの郷

〒563-0013 大阪府池田市市川原町216-2

TEL/FAX 072-754-5711

E-mail: hcms@iris.eonet.ne.jp

URL http://hosokawa-midorinosato.com

就任のご挨拶

ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

会長 橋本 肇



平素はコミュニティ活動に、ご理解ご協力を頂き、有難うございます。令和七年度第十八回総会に於きまして、会長を拝命しました。歴代会長がすすめられてきた事業の継続と、地域性を生かした事業

を模索していきたいと思います。次世代との交流や、余野川・里山での自然体験、学校給食食材提供、高齢者への声掛け配食など、いろいろ事業を行っています。

みなさんのご意見を伺いながら、細河地域ならではのとりくみをしてまいります。どうぞよろしくお願ひします。

第十八回 通常総会の開催

五月十日（土）細河コミュニティセンターに於て、第十八回ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）第十八回通常総会が開催されました。

会員数四十二名中二十一（委任状九名）が参加し、左記議案について審議、可決されました。

議案

- 一、令和六年度各部署事業報告
- 一、令和六年度会計報告
- 一、令和六年度会計監査報告
- 一、令和七年度事業計画及び予算
- 一、役員改選



福祉部会

決算額
1,750,000円



●一日平均 100 食のお弁当を作ります。



●この日のメニューは、筑前煮、コロッケ、和え物でした。



●地域ごとにバイクや車で配送します。

●不在の場合は保冷剤の入った箱に入れて、玄関先に置きます。



●お弁当を受け取る時のおしゃべりを楽しみにしておられる方もいます。



●朝早くから、下ごしらえをします。ちらし寿司の時などは前日から、用意することもあります。



予算額
1,950,000円

調理・配送の仕事を手伝って下さる方、大募集中です。地域のお年寄りの方たちが、お弁当を楽しみに待ってられます。ぜひご協力ください。



住宅環境部会

決算額
969,000円

里山としての環境を整備するための活動をしています。

間伐



●東山の間伐から、昨年度は、木部の五月山散策道あたりの間伐も行いました。間伐後の山に太陽の光が差し込んできました。

ビオトープ

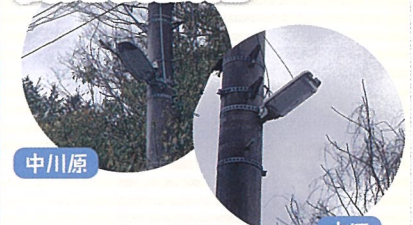


●ビオトープの網を張るため、杭を打つ作業を、ほそごう学園の先生たちにも協力してもらい行いました。ブルーベリー園の網に積もった枯葉を落とす作業もあわせて行いました。

ブルーベリー園



街路樹強化



中川原

吉田

鴨

メダカ

予算額
799,000円

これらの作業をするには、多くの人手が必要です。自然の中でからだを動かしてみませんか。みなさんの力、お待ちしています。

総務部

決算額
2,235,000円

案内所では毎週土曜日9時から朝市が行われています。新鮮な野菜が並ぶ朝市には、毎週多くの人が来られています。整備された余野川には、バーベキューや川遊びに訪れる人が多くいます。

みどりの郷



桜



朝市



アドプトリバー



給食



大根

●学校給食に提供する大根を栽培しています。



●ボタフェスには、ブースを出したり、スタッフへの食事提供を行ったりしました。

予算額
1,814,000円

ふれあい部会

決算額
1,049,000円

細河の自然環境を生かしたとりくみや、学校と連携したとりくみを行っています。

池田中学校とも



五月丘小学校とも



ほそごう学園の先生たちは、毎年、年度はじめに細河、伏尾台地域をフィールドワークします。今年も4月末、フィールドワーク後、ふらっとイケダで、地域と連携してどんな活動ができるかを話し合いました。



渋谷中学校とも
収穫体験



いちご収穫体験

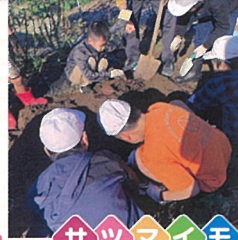
●天候不順のため、夏のプールは中止になりました。

予算額
1,149,000円

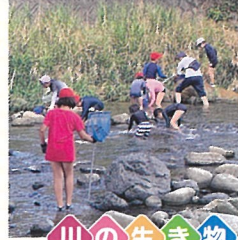
ほそごう学園と連携して



大根
栽培



サツマイモ
栽培



川の生き物
さがし



職場体験



花いっぱい
運動



里山探検

コミュニティ道路



●豊かな自然を感じつつ、気軽に山歩きを楽しめるように、倒木や枯葉の除去を行っています。

五月山散策路の整備



地域の子どもやおとなが楽しめる活動やイベントをいっしょにつくりませんか。

広報部会

決算額
506,000円

地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広くPRするため、広報誌やホームページを作成しています。掲示板では、地域のとりくみ、イベントについても紹介しています。

掲示板



中川原



伏尾



木部

コミュニティ誌発行



●34号、35号を発行しました。コミュニティのとりくみのほか、地域のイベントや歴史なども紹介しています。地域の方からの投稿もお待ちしております。

●コミュニティの活動のほか、地域のイベント、グループの紹介、市内のイベントなどを紹介しています。紹介したいものがあれば掲示させていただきますので気軽にお持ちください。

事務所前の地図を改修し、掲示板を設置する予定にしています。

予算額
793,000円

ホームページ



●細河の魅力や、コミュニティの活動、細河地区のイベントなどを紹介しています。

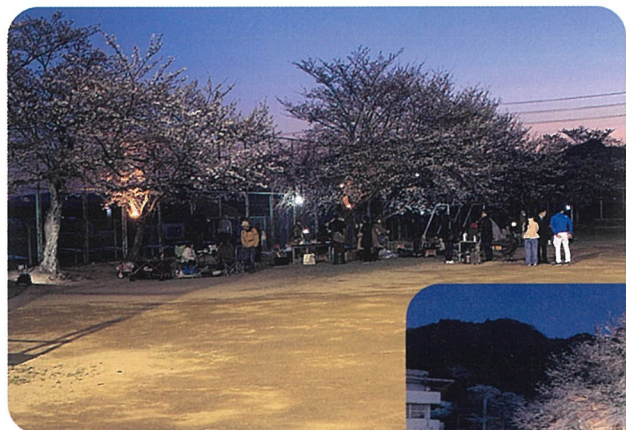
地域のできごと

お花見 しましょう！

3月末から4月初めにかけて、旧細河小学校校庭では、桜がきれいに花を咲かせます。地域の方が利用できるように開放されているので、散歩がてら桜を見に来る人もちらほら。子どもがいなくなった学校の桜を、少しでも多くの人に見て楽しんでもらおうと、今年は4月4日（金）に、二つイベントが企画されました。

細河に集まれ～！お花見さんぽ

地域子育て支援拠点「ホップくん」は、地域ならではの自然や取り組みを通した、地域の方々や子育て仲間との交流のきっかけづくりに、細河近隣を散歩しています。4月は、旧細河小学校校庭で、就学前児童（概ね0から3歳）とその保護者を対象に、お花見さんぽをしました。天気もよく、シートを敷いて、のんびり花見をしたり、子どもたちは校庭で、シャボン玉遊びをしたり、ボール遊びをしたりしました。



BOTAFES夜桜会

次回のBOTAFESは持続可能な開催をめざして、2026年春に開催することになりました。今年はBOTAFESでみなさんとお会いすることができないため、「夜桜」を企画しました。夕方から少しずつ集まってこられた方が、夜桜照明の下で聞きたい音楽、飲食やお花見グッズを持ち込み、きれいな夜桜の下でゆっくり過ごされていました。

公園で遊びましょう！

公園利用者に安心・安全に利用をしてもらうため、木部にある三つの公園（木部公園・陽田北公園・陽田南公園）の遊具改修工事を行いました。従来あった砂場やブランコを撤去し、新たにスプリングデッキやぴょんぴょんマット、ボール＆ハーフボールセットが設置されました。人口芝が敷かれ、小さい子どもたちが安心して遊べるようになりました。ベンチもあり、ホッとできる空間にもなっています。一度のぞいてみられませんか。

木部公園



- ・すべり台
- ・スプリングデッキ

陽田北公園



- ・1連鉄棒
- ・ぴょんぴょんマット

陽田南公園



- ・ボール＆ハーフボールセット

大阪で一番！「世界に誇れる安全で安心なまち池田」をめざして！！

防犯・防災

細河地域 犯罪・災害発生状況

2025年 1/1～4/30（2024年1/1～12/31）



犯罪		●傷害	1 件（1）
●空き巣・侵入	0 件（2）	災害	
●バイク・自転車盗難	2 件（2）	●交通事故	4 件（30）
●車上ねらい	0 件（4）	●火災	1 件（4）
●自動車部品ねらい	0 件（2）	●台風（大型）	0 件（0）
●占有離脱物横領 さい銭ねらい	1 件（1）	●地震	0 件（0）
●窃盗（その他）	0 件（7）	●水害	0 件（0）
●詐欺	2 件（2）		



ええトコ

手織り教室 in うえんそら工房

2003年に大阪府池田市木部町の古民家で草木染めと手織り作家としての活動場所として、うえんそら工房はスタートしました。22年経った現在はアイさんとレイさんの親子二人三脚で精力的に活動されています。アイさんは、20歳の頃から、京都・新潟・福島などで地域の伝統的な手織り技術を学び、その後独立されて独自の世界観を表現しておられます。物心つく前からアイさんの手仕事をそばで見ていたレイさんも、すっかり手織りの世界にはまり、2024年には初めて織った花織り着物が日本伝統工芸展近畿展に最年少で入選しました。そんなお二人は普段は手織り教室を営みながら、独自の制作を続け、それぞれの手織りの時間を楽しんでおられます。



うえんそら工房



■手織り体験のご予約受付中です！
レッスンの受講は完全予約制。見学のみはお断りしています。詳しくはホームページ・インスタグラムにてご確認ください。
■手織り布の作品は、展示会とネットにて販売中です。



・所在地 池田市木部町
248
・電話番号 090-5368-1116

お知らせ

10月下旬に、酒蔵呉春おとなりの古民家にて、手織り布の展示会・ワークショップを予定しています。

細河歷史・文化遺產

植木の発展とその背景

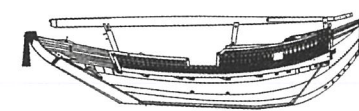
植木の販路（国内）

江戸時代の後期には、細河の植木の販売範囲は、近畿はもちろん、九州や四国、遠く江戸までおよんでいました。

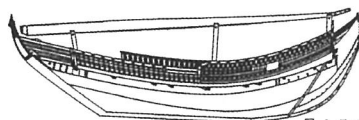
遠方に運び出す順路は、細河から伊丹まで天秤棒が馬力で運び、伊丹から猪名川の水運を使って尼崎まで出し、そこから、灘の酒舟（樽廻船・菱垣廻船）に便乗させたりして、各地に送られていきました。

取引高

の多かつた市場（京都の東寺、堺の黒土など）には、天秤棒を担いだり、大八車を引いたりして運びました。運ぶ仕事は、たいてい植木を作っている家の人で、まして子どもも大八車の先引



菱垣回船・樽回船



葦垣廻船(上)と樽廻船(下)



てんびんぼう
天秤棒

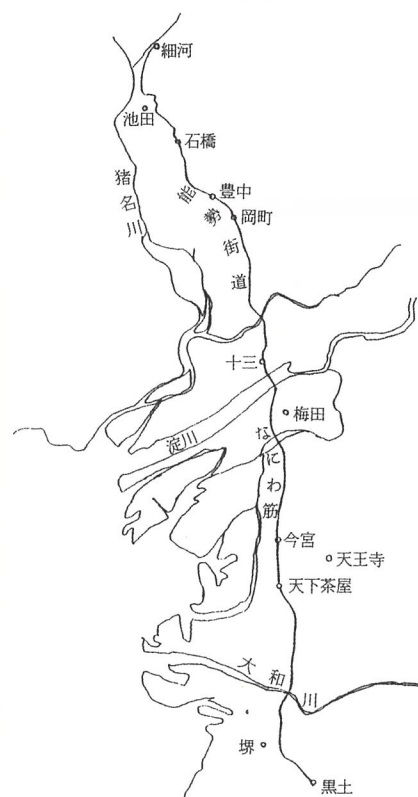
『大阪府の歴史』より
河出書房新社

きなどをして手伝いました。また、運ぶ仕事の時は、弁当とわら草履を何足も用意したり、長持ちする利久下駄をよく使いました。

大阪の市場（今の堺市黒土町）へは、細河から六時間ばかりました。市は朝早く立つので、その市に間に合うように、晩の十二時ごろに出発しました。一九三三年（昭和八年）に今の国道一七六号線が開通する

までは、細河を出発して、今の西本町の商店街を通り、職業安定所の南側の坂道を上り、辻が池公園・水月公園の横を通り、豊中、岡町、十三と能勢街道を南へと向かいました。職業安定所の南側の坂道は急なので、待ち合わせをして大八車を押し合ひして坂を上りました。また、十三で休けいし、弁当の半分を食べ、あと四時間の体力をたくわえました。十三で能勢街道と別れ、なにわ筋を今宮めざして歩きました。午前四時ごろ、今宮によろやくつきました。今宮から天下茶屋まではなだらかな上り坂だったの
 で、「引き方」をたのむこともありました。大阪の市場（今の堺市黒土町）について、荷物を降ろし、弁当の残り半分を食べ、空車を押して細河に帰りました。

植木業の分業が進むにつれて、大八車を馬に引かせて運送業をしている「仲仕」にたのむこともありました。「仲仕」は「馬力引き」ともいわれ、販路の拡大とともに、京都・大阪・神戸へと植木の荷を運びました。大きな道には、馬に水を飲ませる「水飲み場」が一定の間隔でありました。



大阪の市場までの道筋

植木の販売（国外）

植木をはじめさまざまな荷物は、第二次世界大戦後しばらくまでは、大八車や大八車を馬で引っぱる馬力がよく使われていました。しかしながら、第一次世界大戦のころ（一九一四年）、貨物輸送を行う自動車会社ができ、トラックでの植木輸送も始まりました。トラックの出現により、販売方法に大きな変化が起きました。

大正初期には、植木の品種改良、取り引きの改善、価格の調整などを目的とした園芸組合の活動も活発になってきました。中国東北部や朝鮮半島にも、細河の植木は移出されました。さらに、第一次世界大戦のころ（一九一四年）には、中国大陸や東南アジア、欧米諸国へも植木を輸出していました。第二次世界大戦が始まると、食糧増産がさげばれ、その結果、植木畑がつぶされ、今まで築き上げてきた販路は完全になくなってしまいました。

(郷土学習教材「ほそかわ」より)